

標津高等学校は全日制普通科2間口の高校で、第2学年より選択授業制が始まります。進学向けの「国公立理数系科目」、進学、就職向けの「文理系科目」、「商業系科目」そして全国初の「自然環境系科目」では標津町の自然を教材に様々な学習を行っています。平成30年にはユネスコスクールにも認定されました。

生徒会では、近年は防災をテーマに活動しており、HUG（避難所運営ゲーム）を通じて釧根地区の各校生徒会との交流、福島での災害ボランティア活動に参加、そして奥尻島へ被災地実地研修に赴くなど多彩な活動を行っています。それらの活動は「2019年度防災教育チャレンジプラン」に実践指定していただいております。

本校PTAは、その教育活動の一助になればという意識を持ち、PTA活動を行っています。学校祭では、警備の役割と、学校祭を盛り上げる役割のため、毎年玄関前にて焼き鳥、そしてホールにてスイーツ販売を実施しています。売り上げは生徒会に寄付をし、より活発な生徒会活動ができるよう支援しています。また、本校では野付半島から本校までの20.2Kmを歩く強歩遠足を実施しており、給水地点で応援をしながら補助業務を行っています。

先述にもありますとおり、本校では防災教育に力を入れておりますので、PTAでも生徒や、地域の方々とともにHUGを実施しました。生徒だけで行うHUGでは現れない大人の目線、そして地域の特色が加味され、より活発な意見交換が行われました。さらに、この経験を踏まえて、令和元年度の「高校生と語るつどい」では、根室管内の各校生徒、保護者、教員が一堂に会し、HUGを行いました。舞台は標津高校を設定しましたが、議論の中では「うちの学校だったら・・・、うちの地域では・・・、うちの職場なら・・・」というような意見が各所で聞こえ、参加者の中でも防災意識が広がり、とてもよい研修になりました。

また、近年は全道大会に参加してくださる役員も増え、全道各地のPTA役員の皆様と交流することができています。今後も活発にPTA活動を行い、生徒のために一つでも多くの協力をしていきたいと考えています。



学校祭でのPTA活動



令和元年度高校生と語るつどい（HUG）